

# 2015 年度活動報告書

---

特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪

# 2015 年度 事業報告

## I. 事業期間

2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日

## II. 2015 年度総括

今年度の活動報告は、外国にルーツを持つ子どもの学習支援活動が圧倒的な割合を占めています。拠点がある十三を中心にした活動に加え、外国人住民が集住する西淀川区出来島地区でも、学習支援活動を始めたこと、また従来活動を基盤に、訪問型の活動が増えたこともあります。長年かかわっている進路ガイダンスへの協力なども加えると、多文化共生センター大阪の現在の活動の多くは、子どもやその家族を対象としたものとなっています。

「多文化共生センター」が設立されたのは 20 年前、1995 年 10 月でした。日本で暮らす外国人が新たに増え始めるきっかけとなった 1990 年の改正入管法施行からまだ 5 年。日本語がわからない子どもや保護者が日本の学校とつながり始めたころでした。多文化共生センターはその後各地に拡がって、それぞれの地域の課題にあわせた活動を展開していますが、大阪では当時から子どもたちが直面する課題に注目し、様々な活動を続けてきました。この 1 年も少なからず、私たちの活動が子どもたちや家族にとって役に立つものがあったと思っています。

これからの 20 年を見据えたとき、子どもたちやその家族の支援はいかにあるべきか、それぞれ異なる家族の形に合わせた支援も大切なのですが、「木を見て森を見ず」とならないよう、地域や社会の中で外国にルーツのある家族をどのように受け止め、ともに未来を創るパートナーとして活躍できる社会にするにはどうすればいいか、といった大局的な視点ももちながら、活動を深め、広めていきたいと考えています。

今後ともご指導、ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

代表理事 田村太郎

## III. 事業の実施状況

<定款に定める事業>

特定非営利活動に係る事業

1. 日本で生活する外国人への支援活動
2. 多文化共生に関する研修、調査、研究
3. 多文化共生の概念を普及するための啓発及び情報発信
4. 前各号を実施するための、その他の支援事業

### 1 日本で生活する外国人への支援活動

#### サタデイクラス（外国人小中学生対象の学習支援教室）

学校法人山口学園社会貢献センター様のご協力のもと、2014 年 5 月より ECC 国際外語専門学校の 1 教室をお借りし、北区中崎町教室を設置。十三教室と中崎町教室の 2 箇所を拠点として、子どもたちの学習支援活動を行っている。2015 年度からギャップジャパン株式会社様の社会貢献の取り組みの一環

としてサタデイクラスの学習支援や、十三市、十周年パーティーにも参加いただいた。主な取り組みは以下の通り。

### 1) 学習支援教室の開催

概要：英語、数学を中心とした教科支援や日本語の学習を実施し、また中学に在籍せず直接、高校を受験する子どもを受け入れ、志望校合格を目指した。

実施回数：十三教室 42 回、中崎町教室 40 回

参加者数：学習者登録数 32 人、ボランティア登録数 25 人（2016 年 3 月末現在）

学習者の出身国：中国、フィリピン、タイ、ベトナム、アメリカ、ブラジル

受験生：今年度の受験生数 13 名（出身国別人数：中国 8 名、タイ 3 名、ネパール 1 名、ブラジル 1 名）、全員が全日制高校に合格

学習者：各教室毎回 6 名前後の子どもたちが出席

【実施場所】大阪市内

【時期】通年（毎週土曜日）

【対象者】主に 6～18 歳程度の子ども

### 2) ボランティア体験講座の開催

ボランティアに参加したい方を対象に、毎月第 1 土曜日にボランティア体験を開催した。外国にルーツをもつ子どもの背景やサタデイクラスの活動について説明した後、活動に参加してもらった。36 名の参加者があった。

### 3) クリスマス会

サタデイクラスに通っている子どもを中心として、様々な国の子どもたちとボランティアが集まり、母語による交流や国籍・言語を越えた交流を目指す場としてクリスマス会を実施した。

日時：2015 年 12 月 19 日（土）15:00～17:00

対象：ボランティア、学習者など

内容：ケーキ作り、ビンゴ大会

場所：ダイバーシティラボ大阪セミナールーム

協力団体：GAP

### 4) 十三市（地域のフリーマーケット）への参加

地域の人との交流を通して、サタデイクラスの活動について知ってもらうきっかけとなった。また、サタデイクラスの活動資金をボランティアだけでなく子どもたちもいっしょに集めることにより、自分たちの教室はみんなで協力して運営しているのだという意識付けにもなった。

日時：2015年6月13日（土）9:00～13:00

場所：神津神社（活動場所のダイバーシティラボ大阪セミナールーム隣）

#### 5) おつかれさま会

大学受験、高校受験を終えた子どもたちを中心に、1年間サタデイクラスに参加し勉強をがんばった子どもたち、熱心に参加してくれたボランティアに参加してもらい、今年度の振り返り、来年度の目標を共有する場とした。今年度もボランティアの協力のもと、お抹茶体験を実施した。

日 時：2016年3月12日（土）15:00～17:00

参加者：子ども17名、ボランティア7名

場 所：ダイバーシティラボ大阪セミナールーム

#### 6) サタデイクラス10周年パーティー

サタデイクラスの活動が10年継続を迎え、今までの10年を振り返るとともに現在および未来において多様性を活かし共に暮らしていくことを考える場となった。元子どもたちのパネルディスカッションや民族舞踊などを鑑賞した。

日 時：2015年10月17日（土）13:00～16:30

参加者：大人32名、子ども19名

場 所：ECC国際外語専門学校

### **TABUNKA SHINGAKU JUKU（中学生対象の学習塾）**

---

外国にルーツをもつ子どもたちを対象とした学習塾。取り組みは以下のとおり。

#### 1) 学習指導

##### 通常コース

受 講 生：9名（中国7名、タイ1名、フィリピン1名）、

実施期間：通年実施：（毎週月曜日 16:30-20:30）

月 謝：日本語・数学・英語各コース 12,500円/1ヶ月

授業体制：個別指導（講師1：生徒2～4）、1コマ90分

場 所：ダイバーシティラボ大阪セミナールーム

##### 夏期講習

受 講 生：1名（中国1名（1名は通常コースも受講））

実施期間：2015年8月3日～2015年8月7日 全5回コース

月 謝：数学・英語コース 10,000円/5回

授業体制：個別指導（講師1：生徒2）、1コマ90分

場 所：ダイバーシティラボ大阪セミナールーム

## 2) 広報

他言語による Web サイト設置、チラシを作成・配布した。また、当センターfacebook ページで情報提供を行った。

### **TABUNKA SHINGAKU JUKU “DEMAE” (中学生対象の訪問型塾)**

外国にルーツをもつ子どもたちを対象とした訪問型教科学習サービス事業。平成 27 年度大阪市ボランティア活動振興基金助成の元、実施した。取り組みは以下のとおり。

#### 1) 学習指導

通常コース

受 講 生：3 名 (フィリピン 3 名)

実施期間：通年実施：(毎週月曜日 16:30-20:30)

月 謝：ひとりコース 18,000 円、ふたりコース 12,500 円、さんにんコース 10,000 円

教 科：英語または数学

授業体制：個別指導 (講師 1 : 生徒 1 ~ 3)、1 コマ 90 分

場 所：各家庭

#### 2) 講師養成講座の実施

外国にルーツをもつ子どもたちの現状や日本語・教科指導・母語支援について座学と実習を実施し、専門的スキルをもった講師を育成した。

講座内容 : 第 1 回 外国にルーツをもつ子どもたちの現状  
第 2 回 小中学校での日本語指導と課題  
第 3 回 教案作成「〇〇ちゃんを教えるポイントは？」  
第 4 回 模擬授業と振り返り

受講生 : 6 名

実施期間 : 第 1 回 2015 年 11 月 14 日 (土) 13:00~14:30

第 2 回 2015 年 11 月 28 日 (土) 10:30~12:00

第 3 回 2015 年 11 月 28 日 (土) 13:00~14:30

第 4 回 2015 年 12 月 5 日 (土) 13:00~14:30

#### 3) ハンドブックの作成

講師としての心構え、指導方法などを記したハンドブックを作成し、配布した。

#### 4) 広報

チラシを作成し、それを 7 言語 (日・英・中・タイ・スペイン・ポルトガル・ベトナム語) に翻訳した。

それを元に、外国人家庭を個別訪問し勧誘をおこなった。

### **きらきら（西淀川区の小学生対象の学習支援教室）**

---

任意団体「西淀川インターナショナルコミュニティ」が平成27年度大阪市ボランティア活動振興基金助成「区の実情に応じた助成事業」を申請し、2016年1月より活動が始まった。西淀川インターナショナルコミュニティと協働し、教室を運営した。取り組みは以下のとおり。

#### 1) 学習支援

受 講 生：8名（ペルー3名、フィリピン3名、ブラジル1名、ボリビア1名）、

実施期間：平成27年12月20日 ～ 平成28年3月31日（計20回）

月 謝：2,000円/1ヶ月

教 科：日本語、国語、算数

授業体制：個別指導（講師1：生徒1～3）、1コマ90分

場 所：出来島小学校

#### 2) 寄付活動

教室継続運営資金として2015年12月～2016年3月に寄付活動をおこなった。SNSやチラシ、クラウドファンディングなどを使用した。

#### 3) 広報

チラシを作成し、外国人家庭を個別訪問し勧誘をおこなった。

### **「多文化進路ガイダンス」への協力**

---

来日間もない外国人児童生徒やその保護者が日本の教育システムや受験制度の成立ちを理解するのは難しい。日本の子どもたちと同様、外国人の子どもたちも希望すれば高校に進学できるよう、府内の高校で多文化進路ガイダンスを実施した。

主催：「多文化進路ガイダンス」実行委員会

（財）大阪国際交流センター、大阪府立学校在日外国人教育研究会

大阪市外国人教育研究協議会、（特活）多文化共生センター大阪

後援：大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

協力：地域人権教育推進委員会、大阪府在日外国人教育研究協議会

#### 1) 第1回多文化進路ガイダンス

日 時：2015年7月17日（金）15:00～16:30

場 所：大阪市立西高等学校

内 容：言語別での進路説明  
教職員むけの進路説明・高校との交流  
高校生との交流

## 2) 第2回多文化進路ガイダンス

日時：2015年9月27日(日)13:00～16:00

場所：大阪国際交流センター

内容：高校別個別ブースにて、個別相談会

【実施場所】大阪府内

【時 期】2015年7月17日、2015年9月27日

【対 象 者】大阪府内の中学生とその保護者

## 「Minami こども教室」への協力

---

大阪府中央区内の小学校では、国籍が13カ国以上の子どもたちが在籍し、その中には、日本語での学習に困難を抱えたり、仕事が忙しい保護者との時間が持てず、1人で過ごすケースが多くみられる。このような外国にルーツをもつ子どもたちの学習支援と居場所作りのため、「Minami こども教室」が立ち上がった。当センターでは、実行委員会への参加、コーディネーターの派遣を実施し、協力した。

実施日時：毎週火曜日（通年）

実施場所：中央区子ども子育てプラザ

実行委員会構成員：（特活）関西国際交流団体協議会、（特活）コリア NGO センター、（特活）多文化共生センター大阪、公益財団法人大阪国際交流センター、大阪市立南小学校、大阪大学未来戦略機構、日本語教育経験者

【実施場所】大阪府中央区子ども子育てプラザ

【時 期】通年（毎週火曜日）

【対 象 者】大阪府中央区内の小学校に通う外国にルーツをもつ子ども

## 文化庁委託事業「定住外国人のための「生活の漢字」学習支援」

---

文化庁からの委託を受け、定住外国人のための「生活の漢字」学習支援を実施した。日本に定住する予定の外国人、または既に地域に根ざしている外国人を対象に、生活の中で身につけた日本語の音声言語に文字言語を加えることによって、意味は知っていながらも文字としては認識できなかった語彙、特に漢字語彙が読めるようになることを目指す。日常生活において必要な漢字を認識し、自律学習の習慣を身につけてもらうことを目的とする。教室設置においては、漢字学習の入門クラスと発展クラスとに分け、標準的なカリキュラム案を参考にし、日本で生活するために最低限必要な漢字を学ぶ内容（入門編）、日本社会の一員として生活するために必要な漢字語彙を学ぶ内容（発展編）に分ける。漢字学習支援者の養成においては、漢字学習支援を必要としている機関や任意団体へ赴き、これまで培ってきた

教授法や教材を提供する。漢字学習教材においては、標準的なカリキュラム案にある教材例集と合わせて使用できる教材の作成を試みる。

なお、本講座を開催するにあたり、大阪市立総合生涯学習センターに多大なるご尽力をいただいた。

事業概要：本年度は、3つの事業を実施した。

- 1) 日本語教室の設置・運営
- 2) 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施
- 3) 日本語教育のための学習教材の作成

以下、各々の事業内容詳細を記載する。

- 1) 日本語教室の設置・運営

講座名称：外国人のための「生活の漢字」教室 ①入門クラス②発展クラス

講座実施期間：2015年7月7日～2015年12月8日

①入門クラス毎週火曜日 13:30～15:00 全20回（30時間）

②発展クラス毎週火曜日 15:15～16:45 全20回（30時間）

実施場所：大阪市立総合生涯学習センター メディア研修室（視聴覚室）および研修室

実施内容：

回数	開講日時	取り組みのテーマ ①入門クラス	取り組みのテーマ ②発展クラス
1	7月7日	開講式	開講式
2	7月14日	カレンダー	カレンダー
3	7月21日	駅	駅
4	7月28日	ベーシックストローク	ベーシックストローク
5	8月4日	店	店
6	8月18日	災害	災害
7	8月25日	漢字の知識	漢字の知識
8	9月1日	学校	学校
9	9月8日	病院	病院
10	9月15日	薬	薬
11	9月29日	住所	復習
12	10月6日	入管	入管
13	10月13日	入管	入管
14	10月20日	求人	求人
15	10月27日	復習	履歴書

16	11月10日	銀行	銀行
17	11月17日	文を書く	文を書く
18	11月24日	料理	料理
19	12月1日	電気製品	電気製品
20	12月8日	修了式	修了式

受講者について：

・受講者の総数 25 人

出身・国籍別内訳 中国（2人）、韓国（4人）、タイ（3人）、ペルー（2人）、フィリピン（6人）  
メキシコ、ブラジル、イギリス、オーストラリア、スリランカ（各1人）

## 2) 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

講座名称：「生活の漢字」学習支援者養成講座

実施内容：

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修テーマ	授業概要
1	10月7日 (水) 13:30-16:00	2.5	サンプラザ センター視 聴覚室	25	漢字学習のシラバス を考える	1. 外国人への日本語教 育・学習支援 2. 文字学習支援の基本 3. 定住外国人に向けた文 字学習支援
2	11月14日(土) 14:00~16:30	2.5	大阪市立総 合生涯学習 センター	10	生活の漢字学習支援 の方法	1 パソコンを使って得ら れる情報 2、漢字学習支援の方法と コツ 3、教材作成
3	11月24日(火) 13:30~16:45	3	大阪市立総 合生涯学習 センター	5	漢字教室見学	料理の漢字
4	9月10日(木) 13:00~15:30	2.5	大阪市男女 共同参画セ ンター東部 館 クレオ 大阪東	13	漢字学習のシラバス を考える	1. 外国人と文字学習 2. 続けられる漢字学習の ために

5	9月17日(木) 13:00~15:30	2.5	大阪市男女 共同参画セ ンター東部 館 クレオ 大阪東	10	生活の漢字学習支援 の方法	1. 簡単にできる活動例の 紹介と演習 2. 教材作成のコツと方 法、および教材作成と演習
6	10月6日(火) 13:30-16:45	3	大阪市立総 合生涯学習 センター	10	漢字教室見学	入管・在留カード
7	11月24日(火) 13:30~16:00	2.5	難波市民学 習センタ ー・第2研 修室	23	漢字学習のシラバス を考える	1. 外国人と文字学習 2. 続けられる漢字学習の ために
8	12月1日(火) 13:30~16:45	3	総合生涯学 習センター	18	漢字教室見学	トイレの漢字、台所(炊飯 器・オープンレンジ・ガス コンロ)の漢字
9	12月15日(火) 13:30~16:00	2.5	難波市民学 習センタ ー・セミナ ー展示室	23	パソコン実習	1. 「生活の漢字」とは 2. 教材作成のポイントと 練習 3. 教材作成・発表(グル ープ活動)
10	10月24日(土) 13:30~16:00	2.5	大東市総合 社会福祉セ ンター	22	漢字学習のシラバス を考える	1. 外国人への日本語教 育・学習支援 2. 文字学習支援の基本 3. 定住外国人に向けた文 字学習支援
11	11月10日(火) 13:30~16:45	3	総合生涯学 習センター	15	漢字教室見学	銀行、A T M、口座振替申 込書

12	12月12日(土) 13:30~16:00	2.5	大東市総合 社会福祉セ ンター	24	生活の漢字学習支援 の方法	1) 楽しく漢字を学習する・学習支援をするためのポイントを理解する。 2) 写真を使ってできる漢字学習支援のコツを学ぶ。 3) 実際に教材を作成することで、漢字学習支援をするときのポイントについて学ぶ。
----	--------------------------	-----	-----------------------	----	------------------	---

受講者について：

- ・受講者の総数 85人（日本国籍83名、中国国籍2名）

### 3) 日本語教育のための学習教材の作成

教材名称： 日本に定住し、地域に根ざす外国人のための「生活の漢字」教材の作成

対象： 漢字を学びたいと思う定住外国人

目的・目標：

- ・日常生活に必要とされるトピックを選定し、漢字語彙を自律的に学習できる能力を身につける教材を作成する。
- ・漢字学習の入門として使用できる教材のほか、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案教材例集と共に使用できる漢字教材を作成する。なお、教材の作成にあたり、企画・編集会議を行い、内容の検討及び改善を行う。
- ・この漢字教材を用いることで、他地域においても「生活の漢字」学習の普及をめざす。

構成：

- ・10のテーマを取り上げる。
- ・各テーマ10ページ程度。
- ・各ユニットは漢字のある場面や物の写真と、漢字の読み方、情報、書き練習等で構成する。
- ・標準カリキュラムとの対照表を付す。

#### ■事業に対する評価について

- ・目標の達成状況・事業の成果

漢字教室及び養成講座の受講生に実施したアンケート結果及び作成した教材から本事業における目標である「日常生活において必要な漢字を認識すること、また自律して学習することができるようになること」また「漢字学習支援者の養成」は達成できたと思われる。

#### ・標準的なカリキュラム案の地域での活用について

作成した教材に、標準的なカリキュラム案と関連する項目がある場合はそれを示した。また養成講座にて受講生に紹介し、活用方法を考えた。標準的なカリキュラム案について気づいた点は、標準的なカリキュラムは生活場面について様々なケースが挙げられているので参考になるが、会話の習得が主であり、読み書きについては触れられていない。今後は文字習得の側面においても標準的なカリキュラムを作成する必要があると思われる。

#### ・地域の関係者との連携による効果、成果 等

大阪市内の識字・日本語教室と近隣の市の国際交流センターにチラシを郵送した。また、各自の関係先でも配布した。多文化共生センター大阪・大阪市立総合生涯学習センターのホームページで広報した。発展クラスを受講者募集のため、以前の受講者にチラシを送付した。本事業での実践を活動に取り入れるということで、見学者を受け入れた。(日の出読み書き教室コーディネータ) 養成講座に申し込んで抽選に漏れた所や、養成講座の参加者からの口コミなどから、漢字学習支援者のための講座実施の依頼があり、本事業外で地域に出向いて、漢字学習支援者養成講座を行った。(国際交流の会とよなかTIFA、京都Rings、NPO法人市岡国際教育協会日本語教室)

#### ・改善点、今後の課題について

漢字教室においては、入門と発展クラスに分けたため、リピーターに対応できたが、両クラスに参加した受講者が多かった。本来の入門レベルの受講者の申し込みが少なかったこともある。周知の方法を工夫し、必要な人に情報が届くようにしたい。養成講座においては、出前講座を行い、多数の申し込みがあった。行った教室の中には「教える」ことに傾きがちな所も見られたので、学習支援者の姿勢についても考える必要がある。漢字学習教材は、標準カリキュラムとリンクするものとした。事業全体については、常時教室が設置できないことが課題である。受講生においては、昨年度漢字教室に参加していても、数ヶ月間が空くと内容を忘れてしまう人も少なくない。自分で学習を続けているものの難しい部分があるという意見もある。このように、今後は単発的な事業ではなく、複数年実施できるような形態が必要ではないかと思う。そして将来的には、諸外国のように、定住外国人が無料か格安で生活のための日本語を学べる公的な教室を望む。特に本事業の漢字教室に参加する学習者は日本人の配偶者が多く、今後も日本に住み続ける予定の人々である。このように日本社会の一員として生活する外国人のために生活に必要な日本語を学ぶ教室が求められていると感じた。

【実施場所】 大阪市立総合生涯学習センター等

【時 期】 2015年7月7日～2016年12月12日

【対 象 者】 日本に在住している非漢字圏の外国人住民およびボランティアを希望している市民

### **ACTIVO (外国人シングルマザーを主な対象とした日本語教室)**

平成26年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け実施した「外国人母

子の生活支援ステップアップ事業」終了後も、主に淀川区に在住する外国出身の母親たち（多くはシングルマザー）からの日本語教室継続を望む声が挙がったため実施。また、外国出身の人たちが自身のもつスキルを活かし活躍できるよう、「大阪市 NPO・市民活動企画助成事業」助成金を受け、セミナーを企画した。また、本事業においてもギャップジャパン株式会社様の社会貢献の取り組みの一環として、活動に参加していただいた。取り組み内容は以下のとおり。

1) 日本語教室「ACTIVO」

日時：毎週火曜日 10:30～12:00

場所：ダイバーシティラボ大阪セミナールーム

登録人数：14名（フィリピン4名、ベトナム5名、アメリカ2名、イギリス1名、ニュージーランド1名、オーストラリア1名）

学習内容：「みんなの日本語」および「みんなの日本語漢字」

実施期間：2015年4月1日～2016年3月31日

2) 外国にルーツをもつ親子のための教室 ACTIVO in よどがわ（大阪市 NPO 市民活動企画助成事業）

	日時	テーマ	講師	参加者
第1回	8月25日（火）	英語であそぼう！	ジェフ・モリスさん（イギリス出身）	9名
第2回	9月29日（火）	バイリンガルに育てたい！～母語と日本語～	堀口安奈さん（日本とコロンビアにルーツをもつダブル）	8名
第3回	10月27日（火）	イスラム流子育ての秘訣！	リラーナさん、フィルドーシアさん（スリランカ出身）	10名
第4回	12月22日（火）	フィリピン流クリスマスパーティーを楽しもう！	カミイチビジーニャさん（フィリピン出身）	20名

**公益財団法人大阪国際交流センター委託事業「外国人コミュニティ連携に向けてのプラットフォーム構築およびイベント等の企画・運営に係る支援業務」**

公益財団法人大阪国際交流センターが実施する外国人住民と日本人との多文化共生社会の実現に向けての取組「外国人コミュニティ連携事業」について、企画・設計業務を行った。「外国人コミュニティ連携事業」は5カ年計画であり、平成27年度は2年目となる。具体的な取組は以下の通り。

1) 大阪国際交流センターが実施する外国人コミュニティ連携事業委員会への参画と会議内容の本件事

業へ反映。

- 2) 外国人コミュニティ連携に向けてのプラットフォーム構築
- 3) 外国人コミュニティ連携に向けてのイベント等の企画・運営に係る支援
  - 1 第1回イベント「夏休み親子で多文化体験」(2015年8月22日)
  - 2 第2回イベント「Osaka Short Trips」(2015年11月7日)
  - 3 シンポジウム「多文化共生国際シンポジウム」(2015年12月13日)
  - 4 第3回イベント「教えて！あなたのやりたいこと」(2016年2月21日)
  - 5 「Intercultural Committee (仮称)」設立に向けた企画・提言について企画・運営に係る支援を実施した。

【時 期】2015年4月1日～2016年3月31日

### **公益財団法人大阪コミュニティ財団助成事業「Encontro」**

公益財団法人大阪コミュニティ財団の助成を受け実施。外国にルーツをもつ若年層に向けて親子が集う教室を開催し、子育ての不安・課題を解消するとともに、子どもへの母文化保持の機会提供により多文化な子育てを支援することを目的とした。実施内容は以下のとおり。

実施日	開催場所	テーマ	参加人数
2015年5月24日	道仁連合会館	母の日	8組(大人9名、子ども11名)
2015年6月21日	道仁連合会館	フェスタジュニーナ	16組(大人21名、子ども19名)
2015年7月26日	道仁連合会館	劇・3匹のこぶた	9組(大人12名、子ども14名)
2015年8月23日	道仁連合会館	運動会	5組(大人7名、子ども9名)
2015年9月30日	道仁連合会館	ダブルの子どもたち・親たちのアイデンティティーをどう保持するか	4組(大人4名、子ども0名)
2015年10月25日	道仁連合会館	ハロウィン	9組(大人12名、子ども10名)
2015年11月29日	道仁連合会館	ブラジル村と日本村	6組(大人7名、子ども13名)
2015年12月20日	道仁連合会館	クリスマス	15組(大人21名、子ども21名)
2016年1月7日	なんば市民学習センター	ポルトガル語と日本語で絵本を作ってみよう！	4組(大人4名、子ども1名)
2016年2月28日	道仁連合会館	カーニバル	6組(大人8名、子ども11名)
2016年3月13日	道仁連合会館	イースター	8組(大人10名、子ども11名)
		合計	90組(大人115名、子ども120名)

ブラジル出身のコーディネーター・ヴァニア氏を中心にポルトガル語を母語とする親子の参加が主であった。ブラジル人母の参加が多く、日本と自分が育った母国(ブラジル)との文化や子育てのちがいの戸惑いを、活動中に共有し合う場面が多く見られ、母親たちの精神的な安定につながった。

子どもたちはポルトガル語での絵本の読み聞かせや絵カード等でポルトガル語の基礎を楽しく学んだ。ブラジルの民話「サシペレレ」を日本語に翻訳、紙芝居にし、日本で育つブラジルにルーツをもつ子ど

もたちが少しでもブラジル文化を知れるように工夫した。日本で住んでいると母親（もしくは父親）の文化を体験する機会が少ないが、月1回テーマを設定し、ブラジル文化に触れる機会を設けたことは子どもたちが実際に母文化を体験でき、そしてその文化を楽しむことで、自分のルーツを否定的に捉えず、ポジティブに自分のルーツを受け入れられることにつながったとコーディネーターは話す。

主な対象は外国にルーツをもつ親子であったが、日本人の親子の参加もあった。日本人親子にとってはブラジルの文化やポルトガル語に触れ、異文化を体験できる貴重な場となった。

## 2 多文化共生に関する研修、調査、研究

### 講師派遣事業

---

自治体や国際交流センター等を中心に、全国からの講師派遣の依頼に応えた。依頼内容については、多文化共生概論が多い。講演の他、ワークショップを含めた研修も実施した。

▶ 派遣実績

講演依頼件数：10件、研修依頼件数：6件、コーディネーター出席7件

【実施場所】全国

【時期】通年

【対象者】自治体、NPO、研究者、市民等

## 3 多文化共生の概念を普及するための啓発及び情報発信

### 大阪市西淀川区委託事業「大阪市西淀川区多文化共生事業」

---

大阪市西淀川区役所より委託を受けて実施した。具体的な取組は以下のとおり。

1) 西淀川区民まつりにおける多文化共生テントの出店

日程：平成27年9月19日（土）11～17時

内容：①ペルー文化紹介

ア) 子どもの誕生日会飾り付け展示および体験

②西淀川区在住の外国人の写真展示

③西淀川区在住外国人による文化紹介（ペルー、ブラジル）

ア) 各国のドリンク紹介

④多文化共生をテーマにしたアンケートの実施

会場：西淀公園

2) 地域交流会の開催

第1回交流会

日程：平成27年12月2日（水）11:00～13:00

事業内容：ワールドクッキング ブラジルのバースディ料理を作ろう！

会 場：大阪市西淀川区役所栄養指導室

内 容：区内在住のブラジル人を講師として迎え、ブラジル料理を日本人住民・外国人住民と一緒に調理し、食文化を通して交流を図った。あわせて、アンケートを行った。当日は、ブリガデイロ、パステウを調理した。

実施報告：参加者：大人 13 名（日本 7 名、ペルー 3 名、中国 2 名、ブラジル 1 名）、  
子ども 2 名（0 才 1 名、1 才 1 名）

## 第 2 回交流会

日 程：平成 27 年 1 月 16 日（土）11:00～13:00

事業内容：ワールドクッキング ちらしずしケーキを作ろう！

会 場：大阪市西淀川区役所栄養指導室

内 容：外国人世帯では家庭内で自国の料理を作ることが多く、日本料理を作る機会が少ない。第 2 回目は日本料理を通して、地域住民との交流を深める。第 2 回目についても日本人住民、外国人住民どちらの参加も促し、あわせてアンケートを行った。当日はツナちらしずし、とりそぼろちらしずし、すまし汁を調理した。

実施報告：参加者：大人 28 名（日本 16 名、ペルー 3 名、中国 3 名、フィリピン 2 名、スリランカ 2 名、  
ブラジル 1 名、ボリビア 1 名）  
子ども 4 名（1 才 1 名、2 才 2 名、4 才 1 名）

本事業にて区民まつりや交流会を通して、外国人住民と日本人住民の出会う場所を提供できた。交流会に関しては、区報や区役所 HP に情報が掲載されたこともあり、日本人住民からの申し込みは申込み開始から 2 日で定員に達し、住民の関心や注目度が高いことがわかった。

【実施場所】大阪市西淀川区

【時 期】2015 年 9 月 7 日～2016 年 3 月 31 日

【対 象 者】一般

## 「多文化共生推進ワークショップ」の実施

特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会が公益財団法人日本財団より助成金を受け実施した「多文化共生のための政策提言事業」において、全国 14 ヶ所で行われた「多文化共生推進ワークショップ」の 1 地域として、当センターが「多文化共生推進ワークショップ in 大阪」を実施した。

具体的な取り組みは以下の通り。

開催日時：平成 27 年 12 月 12 日（土曜日）13 時 00 分～15 時 00 分

会 場：出来島コミュニティ会館

テ ー マ：オープニングアクト「ペルー民族舞踊」

第1部「オープニングメッセージ」

第2部「事例発表」

特定非営利活動法人多文化共生センター大阪

大阪市西淀川区役所

西淀川インターナショナルコミュニティー

第3部「ワークショップ」

5グループに分かれて「これから私たちができること」を話し合った。

共 催： 特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会

後 援： 総務省、大阪市、大阪市西淀川区役所、公益財団法人大阪国際交流センター

参加者： 61名（うち、自治体職員4名、国際交流団体職員2名、日本人住民30名、外国人住民22名、大学生3名）

## 多文化共生に関する報告書等の発行

### 2015 年度書籍売り上げ数

商品名	金額	購入件数
多文化共生に関する自治体の取り組みの現状 ～都道府県および政令市における 多文化共生施策調査報告書～	5,000	1
外国人従業員従業員受入れに関する調査報告書 ～外国人研修生・技能実習生受入れに関する意識調査～	0	0
チェックシート報告書セット	0	0
チェックシート	0	0
災害時に役立つ！ 通訳・翻訳ボランティアハンドブック	2,000	2
多文化子どもの歌集(セット)	24,000	8
多文化子どもの歌集(CD)	2,500	1
多文化子どもの歌集(ブックレット)	0	0
外国人女性住民の相談ニーズ調査	0	0
多民族共生社会ニッポンとボランティア活動	0	0
委託販売(子どもの歌集)	0	0
合計	33,500	12

【実施場所】 全国

【時 期】 通年

【対 象 者】 自治体、企業、NPO、研究者、市民等

## 4 前各号を実施するための、その他の支援事業

### 一般財団法人ダイバーシティ研究所「事務作業委託」

一般財団法人ダイバーシティ研究所の事務作業（主な作業は講師派遣についての事務）について委託を受け実施した。

【時 期】 2015 年 4 月 1 日～2016 年 7 月 31 日

## IV. 社員総会の開催状況

### 2015 年度会員総会

1. 日 時 2015年6月25日(木)19:00～20:30
2. 場 所 (特活)多文化共生センター大阪 事務所  
大阪市淀川区十三東 2-6-7 徳島ビル 2F
3. 出席者数  
会員総数 20名 出席 17名 (本人出席：6名、委任状出席：11名)  
定款第27条により、会員数3分の1以上の出席があり定足数を満たしているため、  
当総会が成立していることを確認した。
4. 議長、議事録署名人の選任  
議長として、理事会より田村太郎が推薦され、満場一致で選任された。  
議長が議事録署名人の選任について出席者に囚ったところ、議長一任の声があった。議長は、議  
事録署名人として、中村満壽央、坪内好子を指名した。
5. 議事の経過及び結果  
第1号議案 2014年度活動報告及び2014年度会計報告について承認を求める件  
事務局より2014年度活動報告及び2014年度会計報告についての説明があり、議長がその承認を求  
めたところ、満場一致で承認、可決した。  
第2号議案 2015年度活動計画(案)及び2015年度活動予算(案)について承認を求める件  
事務局より2015年度活動計画(案)及び2015年度活動予算(案)についての説明があり、議長が  
その承認を求めたところ、満場一致で承認、可決した。  
第3号議案 2015年度役員選任について承認を求める件  
議長は、2015年度役員選任案を示し、その承認を求めたところ、満場一致で承認、可決し、各人は  
その場で就任を承諾した。  
理事 田村太郎  
理事 中村満壽央  
理事 東口千津子  
理事 永井美佳  
理事 山本千恵  
理事 坪内好子  
監事 堀西雅亮

## V. 理事会その他の役員会の開催状況

### 第1回理事会

日 時：2015年6月26日(金)  
場 所：(特活)多文化共生センター大阪事務所  
審議事項：

1. 理事の互選について